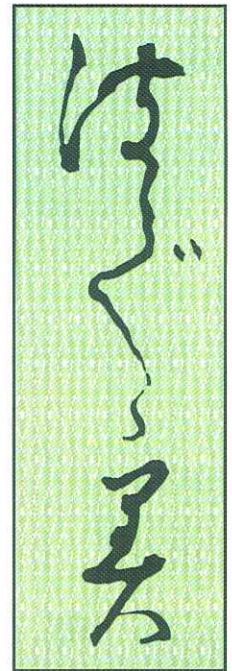


大分県PTA



発行所 大分市下郡字長谷496の38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055 http://www.oita-pta.com/ 責任者 富永大輔 印刷所 大分市高江四丁目4323番25 いづみ印刷株式会社

県知事賞に 佐伯市立鶴岡小学校PTA

「広報 つるおか」

～「大胆」「読みやすさ」が評価～

第34回 大分県 PTA広報紙 コンクール



県知事賞を受ける「広報つるおか」

第34回大分県PTA広報紙コンクールに、県内の小・中学校より135点の応募があり、4月7日の審査会で入賞48点が選ばれた。表彰式は、4月22日、県教育会館で行われ、約70名が出席した。

表彰式では来賓、受賞校代表者が出席する中、富永大輔県PTA連合会長が「入賞された48校のみならず、本日は、誠にありがとうございます。広報紙とは、PTA会員に情報を伝えるもの。見やすさ、目のひきやすさなどを工夫し腕を上げてほしい。これは自分たちがつくったものだ子どもたちに誇ることができる魅力あるPTA活動のひとつ。これからもよりよいものをつくってほしい」とあいさつした。

続いて、小矢文則県教育長（代理伊見英治教育次長）が祝辞を述べた。

よりよい チームワークを

表彰の後、帆足三郎審査委員長が次のように講評。

●1つの紙面に写真が占める割合が大きく感じられた。記事と写真は6対4が好ましい。写真の大きさに変化をつけ、トリミングを工夫する。●レイアウトは読みやすく、わかりやすく、すっきりと心がける。

●広報部が外へ行き、小まめな取材活動をしているものは内容が豊かである。●シリーズものを意識し、身近に起きていることを追いかけて、家庭・学校・地域との連携を図っている。



http://www.oita-pta.com/

広報紙づくりの 秘訣とは



熱心に聞き入る参加者

美佐伯市立鶴岡小学校広報部長は「2年連続の受賞は、部員全員、喜びと驚きでいっぱいだった。最初の部会でシリーズを決め、今、気になることをアンケートで子どもと保護者、地域の方などに聞いた。互いが感じていた内容を記事にすることができた」と笑顔で活動の様子を語った。

Table with 3 columns: Name, Position, and Organization. Includes members like 帆足 三郎, 安部 崇夫, etc.

審査方法・基準

5人の審査員が1人10点の持ち点で1次審査。集計をもとに審査員の協議による2次審査で各賞を決定する。<基準> ①読みやすく、わかりやすく、すっきり ②年間のシリーズ物、企画物があるか ③広報紙の特色（運動会等の扱い） ④写真のバリエーション、トリミング ⑤地域の特色が出ているか ⑥レイアウト、見出し、カットの整理力 ⑦誤字・脱字がないか 尚、入賞紙のうち10枚が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品される。



「広報つるおか」

▼皆に楽しんでもらえるために話し合いを何度も持ち、保護者や子どもの「想い」が伝わる広報紙づくりをめざし、努力は必ず報われることを実感している。（佐伯小） ▼問題提起を図るために、テーマを設定することで、シリーズ化を行い内容を深めていった。直接取材を行い、多くの声を聞き、家庭と学校の両面をクローズアップした連携を心がけた。（附属小） ▼全員が必ず何らかの専門部に属するようにしている。

お知らせ

★第34回大分県広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版 1冊1,000円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県PTA事務局までお申し込み下さい。県内の各小・中・特別支援学校には市PTA連を通して1冊贈呈します。大分県PTA連合会事務局 ☎(097)556-9055

研心北 ▼大分合同新聞(4/8)で本会主催の広報紙コンクールの受賞校を見て懐旧の念に浸った。48校中5校で勤務。2校で題字揮毫。佐伯小「城山」は47年前。佐伯校区民は元より市民が抱く思いと藩校四教堂からの歴史と伝統への畏敬の念を込め、重厚古風に。南大分小「はつせ」は16年前、校訓は友愛。初瀬井路の清流に泳ぐ若鮎をイメージした点画で文字間をくっつけ凝刺感を持たせた新風デザイン▼木立小「そだち」は初任校。森岡小「もりおか」別保小「別保べっぴん」は50代前後在職。中でも森岡は通算8年勤務。直接広報紙づくりに関わった。開校間もなく校区あげて伝統づくりに燃えていた。「コンクールに入賞する広報紙」と新聞研役員や学級通信に堪能な先生方に、公私昼夜不問にいらしけん学び努力した。代々の関係者もその意気なを継いで入賞常連校(?)となった▼どの広報紙の題字にも深い意図がある等。題字形や意匠云々よりことばとして題字は大事である。顔であり歴史でもある。不易流行というが、PTA・育友会には不変一貫した萬里一条の精神がなくてはならない。又逆に流行や時の風潮をいち早く察知し的確な指標を提示し会員の負託に寄与できる広報紙であらねばならない。特に第一面はその紙の優劣に大きく影響する。他校の広報紙の一面の構成を比べて研究、編集することはいい紙面づくりの対策になるかも。本会が毎年上梓する「県PTA広報紙縮刷版」はいい広報紙づくりに利用の価値大である▼おわりに、これまで出会った児童、保護者、同職の先輩、関係機関の皆様へ唯々感謝である。



# 「このぼしは命の星」推進事業 活動報告(5) いのちを感じる活動を

## PTA全会員の力を結集

### 由布市立湯平小学校PTA

麻生 英直 P会長 児童数 32名

児童数の減少、核家族、過疎化という現状の中、地域の方は「孫がいなければ学校には行かない」傾向がある。そこでPTA全会員の力を結集し、学校と家庭さらには地域社会を結ぶ架け橋の役目を果たしたいと願っている。地域で子育てをするために、学社融合の要として力を発揮したく「このぼしは命の星」推進事業に申し込んだ。



だんごのぼしに挑戦

地域の方と積極的に関わっていきこうと、学年毎に様々な活動に取り組んだ。1年は親子で老人ホームを訪問。2年は白玉パフ作りと竹馬作り。3・4年はだんご汁作り。5年は物づくり教室の方との交流。6年はおまんじゅう作りと特に戦争体験のお話を聞

平成22年2月から活動を始め、松食虫の被害で荒れた栗山に、桜やもみじなどを植樹。自分たちの住んでいるまちが

## いい場所を 作りたい

平成22年2月から活動を始め、松食虫の被害で荒れた栗山に、桜やもみじなどを植樹。自分たちの住んでいるまちが



桜の開花を楽しみに

昔から封戸地区の里山として親しまれてきた「栗山」に植樹をし、いいこの広場を作りたい。その活動の中で子どもたちが自然環境、動植物の生態系を体験し感じること

## ふるさとを誇りに

### 宇佐市立封戸小学校PTA

高橋 知久 P会長 児童数 39名

麻生英直P会長は「大きな成果は地域の方が子どもたちと生き生きと楽しく交流できたこと。特に地域の方からは『子どもたちの明るい声に元



竹馬が完成してうれしそうなお顔

## 地域の人と物を大切に

### 佐伯市立切畑小学校PTA

坂本 晃彦 P会長 児童数 97名

この地域の自然の素晴らしさを生かし、それを大切に思う心を育み愛着が深まることを願っている。子どもたちが育てた作物を、地域の人の力を借り一緒に調理し食すことを通じて、保護者と園児、



親子でうどん作り

児童との関わりなどを「食」をはさんで深めていきたい。また、保護者同士がさらに交流の機会を増やし深めることによるPTA活動の広がりと親子のつながりを願い「このぼしは命の星」推進事業に申し込んだ。

## 息の長い 取り組みを

平成21年度は、地域食材を使って親子で料理教室の開催などを中心に活動計画を立案。特に地域のうどん打ち名人を講師に招いての親子うどん作りは盛会となり好評

## 広がる活動の輪

### 大分市立原川中学校PTA

佐藤 啓治 P会長 生徒数 534名



きれいに咲いたコスモス

生徒が登下校や体育の授業、部活動で利用するジョギングコースを、19年前から生徒、PTA、桃園地区の方が草刈り、菜の花の植栽をしてきた。8年前、原川地区の子どもの見守り地域で育てていく「うぐい」という目的で「原川地区子育てネットワーク」が発足し、その活動が地区全体に広



地域の方と協力して畝作り

がった。今では、一・三kmの土手一面が春は菜の花の黄色と桜並木のピンクで彩られ、秋はコスモスで彩られている。散歩をする人も年々増え、心穏やかな場所となり好評を得ている。

これに加えて、初秋の彼岸花と冬の水仙の開花が見られる、年間通じて「四季の花」を楽しむことができる。生徒が種まき、種取りに参加することで、「いのちの循環」に接することは、健全育成にPT

## 活動の継続を 願って

初年度は3つの橋のたもとで植え付け、以降、年毎に植え付け面積を増やし、10年後、20年後には菜の花のように土手一面を彩らせ、四季折々の花の美しさを楽しむことができるジョギングコースにしたいと願っている。

生徒は「自分たちが採った種を蒔き花が咲いて、また種を採るというのを繰り返して毎年花が咲くので、後輩にもつとめてほしい」と今後の活動の継続を願っていた。地域の方は「彼岸花を植えるための畝を作る作業は大変だった。土質が悪かったのが花が咲く心配だったが、秋に赤や黄色の花を見つけた時は、ほっとした」と語った。



みんなで食べるおいしいな

平成22年度は、九州大学の比良松道一氏を招き講演会を実施し、食育についての理解が深まった。園児は菜園で育てた人参・大根・白菜・ねぎなどを使い地域の方と共に豚汁を作った交流した。また園で栽培した大豆を使い、5年生も加わり豆腐作りに取り組んだ。おからも残さず料理をし、おいしさを味わった。

坂本晃彦P会長は「食べるのが体を作るために大切であると理解しながら、忙しい日常の中で『食』をおざなりにしてきたことの見直しが必要だ」と語り、1年生から6年生まで腰をかがめ、膝をついてふいている。子どもはたくましい。

## 子どもの様子

算数は複数体制をとっている。4年生ぐらいになるとできるできないの差は次第に大きくなる。丁寧に教えると分かってくる。友だち同士でも教え合いをする。「分かりたいできるようになりたい」子どもは必死だ。私たちが必死である。子どもはがんばる。

習字の時間、「先生、どっちの字がいいかなあ」と得意げにきいてくる。そんなに上手い子ではない。「こつちが右はねが上手いぞ」と言うと、「にやり」とする。子どもはほめるにかぎる。

中津市立鶴居小学校 教諭 岩丸 伸一

# 見つけてはぐくむ 伸びる力

## — 手をかけずに見守る —



健全な成長を望み、手をかける愛情深い子育ては大事である。しかし、激しい時代の流れの中で、常識や価値観が大きく変化している今、子育てに関する情報も多過ぎる割に確たるものはなくなっているのではないだろうか。このような状況でどう関われば良いのか、わが子らしさを見つけた子育てを考えてみた。



無邪気な笑顔の子どもたち (写真と本文は関係ありません)

子どもが将来苦労するだろうと思うと、じっと見ていられないのが親の本音。しかし、子どもの気持ちを考えず「できる・できない」にこだわる親の思いばかりが先行し苛立っていないだろうか。ある程度枠をつけて育てていこうとする中で、どう育てれば良いのか不安になる根底には、どんな問題があるのだろうか。

### 子どもの気持ちにそぐわない現実

つい私たちは「こんな子どもであってほしい」「こうあるべきだ」という気持ちが先立ち、特に世間体を気にして「しちやダメ」とその行動自体を止めてしまう。その反面、子どもは子どもらしく、感情のままに泣いたり笑ったり、

### 必要以上に関わらない

3人姉妹の末っ子として育ったAさん。「私は小さい頃から良く言えば自由、悪く言えばほったらかしだった。おかげで何でも自分でやらなければという気持ちが身に付き、がんばってこれたんだと思う。ところが、自分ががんばっても子育ては別。過干渉になってうまくいかず行き詰まってしまう。その時に、ふと中学生の頃を思い出した。朝寝坊して、慌てて家を飛び出そうとする私に向かつて母は『あら？今日、学校？』



親子のふれあい (イメージ写真)

と、ひと言。こんな私の性格を思っただろうかはわからないが、いい加減な声掛けに変わりはない。でも、それくらい適当でよかったのだと思う。今の私に大事なものは「手をかけずに見守る勇氣」だと思った。そうできるよう自分自身を変えたい」と話した。

### 子どもの選択に寄り添う

別府大学・別府大学短期大学部 文学部(教職課程) 准教授

佐藤 敬子



私は今、大学で「キャリア教育」を担当しています。簡単にいえば生涯にわたる自分のキャリアを自分で考えるようにするための教育です。自分が何をしたいのか、何ができるのかを自分で考え、社会に出ることがゴールなのではなく、人としてどう生きていくのかどんな一生を送るのかをデザインしていくための学習です。社会情勢も大変厳しい今だからこそ、しっかりと自分の進路を考えなくてはなりません。ひと昔前であれば、子どもがどこに行きたいのかをはっきりとさせ、希望する到着駅に行く正しい汽車に乗せてあげるのが親の役目でもありました。乗せてしまえば「いつてらっしゃい」と手を振り送り出せば子どもは目的地に到達できる社会でした。しかし、今は、向かった駅がいつまでもあるとは限

らない行き先不透明な世の中です。自動車ではなく、自動車の時代です。自分で運転して、自分で道を選びながら、周囲にも注意してスピードを保ちながら進まなければなりません。目的地をきちんと頭に入れて、どの道を通れば一番近道なのか、ガソリンはどのくらい必要なのかを

自分で考えながら周囲にも注意して運転しなくてはならないのです。そういった自己決定能力を育てる場所が家庭です。その「選ぶ力」を育てるためには親に「待つ力」が必要です。子どもはみな「選ぶ力」を持っています。しかし、親は人生の先輩であり、自分の経験から、ある

### いつか独立する子どもへ

「かわいい子には旅をさせよ」とはよく言ったもので、親の手の届かない所で世間の実情を認識させるのが一人前への早道になる。誰の助けも借りず、精一杯やったという満足感、たとえそれが失敗したとしても自分を支える自



我が、青江小学校では、各区の区長さん方のご協力を得て、様々な活動に参加して頂いています。学習支援活動では、読書、習字、家庭科、音楽、体育、図工等の授業にも参加して頂いています。総合の授業では、廃油石けん作り、焼芋等をして、子ども達も嬉しそうでした。他校でも取り組みのある安全パトロール、あいさつ運動等もあります。運動場や木剪定等の環境

### 地域と参画する 学校支援

津久見市立青江小学校 PTA会長 田中 慎二

### ゆっくりと長い目で見守る

信につながる。親の役目は、まちがいや失敗をさせないのではなく、失敗した時に事実を見極め、どう前向きに考えさせるかではないだろうか。挫折や逆境をバネにして積極的に生きていく力は、子ども自身の中から生まれてくるはずだ。30才になる娘を持つCさん。「子どもが大学受験で薬学部を受けたが不合格だった。それでもあきらめず、その後3年浪人をした。さすがに金銭的な事もあり、次の受験で行ける大学へ進むよう家族で話し合った。結果は不合格で他大学の経済学部へ入学。しかし、3年生になった時に『やっぱり薬学部へ行きたい』と言出し、また家族会議へ。出した答えは、今の大学を辞め、薬学部への再チャレンジだった。3回目の受験でやっと合格し、今は充実した毎日を送っているようだ。頑固で言い出したら聞かない性格もあるが、子どものやりたい気持ちを尊重し、自分の決めた道を自分の力で進んでいくって、いいんじゃないか。子どもは、子どもらしく成長する。その中でいろいろな経験を重ねれば、将来は必ず開けるのではないだろうか。のんびりと構え、長い目で子どもの人生を見守る事が重要なかもしれない。

ほしいと思った。結局、そのために親として何ができるかを考えても、じっと見守り続けるしかできない」と力強く語った。

例えば、植物を種から育てる。芽が出た時、どんな葉をつけ、どんな花を咲かせるか、わくわくして育てるはずだ。その芽は大きくなり葉を広げ、背丈を伸ばす間に根も張る。やがて花を咲かせ実をつけるが、その葉や花を変えることはできない。ただ水をやり、陽当りを考え、時々肥料をやるくらいだ。毎日が忙しくいつの間にか追われて焦っている。「待つ」「見守る」という事を忘れてしまふ。子どもはゆっくりと成長する。その中でいろいろな経験を重ねれば、将来は必ず開けるのではないだろうか。のんびりと構え、長い目で子どもの人生を見守る事が重要なかもしれない。

白杵市PTA連合会は、平成17年に旧白杵市と旧野津町の合併に伴い、新白杵市PTA連合会として出発しました。熱心で前向きなPTA役員の方々のご協力のもと一致団結、充実した活動を行っています。

**ネットワーク 16 村PTA 報**

(16は県下郡市等P連の数)

白杵市 会員数 2,007人 学校数 21校  
 玖珠郡 会員数 1,779人 学校数 26校

玖珠郡PTA連合会の活動は、郡内の教育団体(高校・小中学校長会・教職員組合)との教育懇談会を持ち、学習や生活指導等について意見交換をしています。指導者研修・地教委等の話し合いは両町PTAとなっています。

一昨年度より、小学在籍の保護者を主に高校問題特別委員

**育児は育自 (母親部会)**

年度初め、郡P母親部会で

子どもたちが作ったお弁当 (野矢小)

員会を組織しました。昨年度は、11回の会合を持ち「昨年来に渡って、玖珠郡に高等学校を如何にして残すか」を柱に、現在の高校の実情を知らせるパンフレットを1千部作成し、新聞折り込みでPR。両町議会に呼びかけ、玖珠郡高校を考える会を組織し、シンポジウムを開き郡内の人々に訴え、保護者からのアンケートを元に県教委と意見交換会。今年度は両町長・教育長を交えた協議会を組織する要求をした。

**学校・家庭・地域の教育力の向上を目指すPTA活動**

玖珠郡PTA連合会

は、全27校の母親代表と意見交換をした際、子どもの成長と共に接し方が分からないと悩みを抱えている事が分かりました。そこで、親が学びたい、自分の言葉でメッセージを伝えなければと確認し、また、各学校には昨年より続く弁当の日を提案、実施した学校が増え、子どもたちは楽しんでいて、親はコミュニケーションがとれる事が良いとの感想が多かった事に成果を感じました。1年を通して、母親部会での活動が、少しでも子育ての参考になっていればと願うばかりです。

玖珠郡PTA連合会 事務局長 梅木 金治

本会は、教育研修部会・厚生部会・広報部会・母親部会の4専門部会で構成されており、二大事業である「市P連研修会」と「振興大会(ミニバレー大会)」では、各専門部会が中心となり企画・運営に努めています。その他行事として「単P役員研修会」、「市教委との懇談会」等諸々ありますが、昨年度は、市Pと単Pをより身近に、そして、全委員が同じ意識の下で子ども達を育てていく事が望ましいと考え、そのパイプ役としてお力添え頂きたく、「単P会長会」を立ち上げました。年数回の会合と、市長を囲んでのぐるま座トークでは、双

**親の果たすべき役割**

更に、市P連では子ども達が抱えている課題解決に向けて「学力向上支援」を重点目標とし市内全小中学校保護者を対象に「家庭生活アンケート」を実施、その結果を基に『白杵っこ育ての3か条』を掲げました。現在、単位PTAごとに取り組んで頂いているところですが、しかしながら、学

方立場から建設的な意見交換が行われました。会を重ねる度に会長同士の絆も深まり、活動の原動力となつていきます。

また、11月には上北小学校が県P指定研究発表を行いましたので、市P連も総力を挙げて応援したいと考えております。

白杵市PTA連合会 会長 河野 美幸

- 白杵っこ育ての3か条**
- 一、朝ごはん、一食前らん 会話をしよう!
  - 二、家庭では親が先生、学びの心をもちよう!
  - 三、読書する、その姿勢はまず親から!
- 3か条を努力目標に

**心豊かな子どもを育てよう**

**白杵の力を育てよう**

白杵市PTA連合会

ばすだけではなく、「生きる力」の育成も重要であると考えます。親の果たすべき役割を今一度見つめ直し、今後も「3か条」を努力目標として推進してまいります。

「世界でいちばんかわいいよ」と、母が愛犬に言っている。この前までは、僕に言っていたのに。確かに今、僕、最高潮の反抗期。(水口賢史 中2 札幌市)

素直になれず、ちよつぱり犬にやきもち。かわいくて、何でも話してくれていた我が子。無視や沈黙、閉じこもりなどの反抗行動が垣間見られるようになって、「もう子どもではない」と思うようになった母親。

一方、反抗期を正面から受けとめようとする母親も。反抗期ってね、来るのはとてもこわいけど来ないのは、もっとこわいの(竹内久美子 兵庫県)

反抗行動は、自分らしい折り合いの探しの途中のあがき行動と捉えられ、強硬な自己主張。

3月11日、東北地方を中心に大地震がおこり、甚大な被害をもたらした。現在も児童・生徒をふくめた多くの人が、厳しい避難生活を送らざるを得ない。

そこで大分県PTA連合会では、被災した多くの子どもたちのために、少しでも力添えをしたいという思いから「こは命の星」募金活動を開始した。3月18日より募金活動を開始した。

募金活動は各都市PTA連合会を通じ、各単位PTAに支援・協力の依頼を行っている。

なお、募金は日本PTA全国協議会(日P)に送る。被害を受けた子どもを中心とする教育関係の支援のため、日Pから被災地のPTA協議会に渡すことになった。また、日P主催の日中

張などの行動をくり返しながら、自己の確立が意識されるにつれて、反抗は、軽減の方向に向いていく。許してくれると知っているから

最近少し

反抗期(安藤史織 中2 東京都)

思いつきり、反抗期している子ども。折り合いの旅は、君がいくら反抗期であろうと、私は、君がいちばんかわいくった頃の時を知っているくやしいでしょう。(木下つかさ 神戸市)

どんな大人になるかを試行錯誤する時期。見守って。作品は、「たのしい子育て全国キャンペーン事業」(日本PTAの事業)から

みんなで考えるコーナー室長 岩尾 淳一

ご協力ありがとうございました

**4,392,710円** (第1回 日P送金額 109件(個人・単P・郡市P連等))

引き続きご支援・ご協力をお願いします

大分県PTA連合会

MS&AD 三井住友海上

**三井住友海上の安心**

**GK**

自動車保険 火災保険 生命保険

〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 www.ms-ins.com

**編集後記**

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介いたします。

櫻山千鳥 高橋時子  
三重野陽子 丸山真里(新)  
天社浩美(新)  
(顧問) 岩尾淳一

これからも、より良い紙面作りをめざします。ご愛読を、生かされています。ご感謝。子どもと向き合えることにも、子育ては親育で、自分自身を見つめ直すよい機会に。

保護者同士の思いを伝える広報紙づくりをこれからも大切にしたいPTA活動に感謝。

**反抗期 どう接したらいいの? ⑩**

**最近、少し反抗期!**

**みんながながえるコーナー**

1面コラム欄は昨年度より引き続き「研北寸心」です

\*筆者紹介\*

氏名 牧 泰正(泰壽)  
生年月日 昭12年4月5日  
国東市在住

○元大分市立南大分小学校長  
○NPO法人・県書連顧問理事  
○県美協名誉会員  
○勸書道芸術院評議員・九州支局長

○大分合同新聞文化教室講師  
○泰壽書道館主宰

**県P情報**

- 6月3日 定期総会
- 6月17日 幹部研修会
- 8月20日 全単位PTA

会長研修会

- 県P連補償制度
- PTA安全補償
- 自転車安全補償
- 育英補償

お問い合わせは

- ☆保険請求先 (尚)トータルアシスト 0120(11)20357
- ☆制度全般について 大分県PTA連合会事務局 097(556)9055